

H25 妙高西条農園たより No.8

平成25年11月20日

妙高連山にも10月中旬に初冠雪があり、その後周期的に寒気が入る事に、平地では雨でも山間部では雪となることから今では妙高山の中腹まで雪化粧しています。

当農園で栽培しています、メグスリノキもきれいに紅葉してきました。今年のお稲刈りを振り返ってみますと、田植え後の5月下旬から6月にかけてつづいた晴天で山間部を主に田植えができなかった箇所がありました。

また、夏には全国的な猛暑がつづき当農園圃場でも、少しでも温度を下げるための水管理と、畔草の除草作業に追われました。



1株25~30本全て穂が実りました

収穫前の9月中旬からは18号を先頭次々に台風が襲来し、農作業が1週間ほど遅れてしまいました。

しかし、結果は私が父から10年前に米作りを引き継いでから、**収量品質とも最高のコシヒカリが収穫できほっとしています。**前述しましたように悪条件の重なる中でこのような成果が出たのは、数年前から行ってきた圃場へのミネラル土壌改良材(マインマグC)のすき込みと、有機肥料を主とした栽培、暑さに耐えた疎植植(42株)に、徹底した水管理と早期の除草作業などが幸いしたものと考えています。



紅葉したメグスリノキ

長雨で畔に亀裂が入った箇所をバックホーと人力で修理



秋の台風等による長雨で畔に亀裂が入ったため、そのまま放置すると来春の崩雪解け水等で崩れおそれがあるため、直営作業で重機と人力により修理作業を行いました。

1年の農作業は雪解けを待って、圃場に土壌改良材、有機肥料のすき込み、春の耕耘、代かき、田植え、除草、秋の刈取り、乾燥、籾摺り、秋のすき込み、耕耘と続きますがどの行程もトラクター、田植機、コンバイン等の農業機械がなくては仕事になりません。

これらの機械は田植機のように1~2日しか使用しない機械もありますが、使用後の点検整備が重要で、これらの作業を怠ると、来年使おうとしても上手く行かないばかりか、故障の原因になってしまうため、全ての作業が終了したこの時期の点検整備は重要な仕事です。



トラクターの肥料播き機とバインダーの整備作業

来年の梅雨時期以降も美味しいコシヒカリを食べていただきたく、保冷庫を更に1台購入しました。



今年も1年間「農園たより」を一読いただきありがとうございました。これから来年3月まで、積雪のため、農作業ができなくなりますので、**休刊とさせていただきます。**

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条 755
妙高西条農園長 池田博子
☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908
E-mail : ikeda@kanta.jp
ホームページ URL : http://www.kanta.jp